

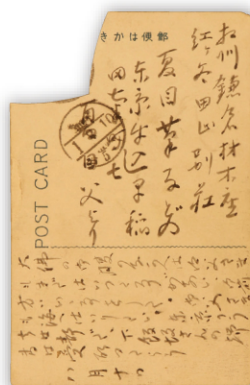
# 夏目家の人びと、 漱石の家族



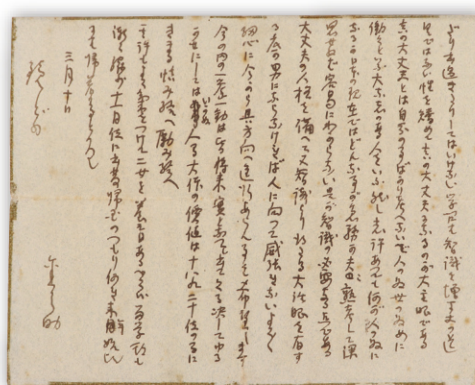
慶応3(1867)年、漱石は8人兄弟の末っ子として生まれました。里子や養子に出されるなど不遇な少年時代を過ごし、その後も養父の金銭問題に悩まされますが、亡くなる1年前に著した『硝子戸の中』の育った家の記憶は、旧懐に満ちた穏やかなものでした。自身の家庭生活では、明治29(1896)年に中根鏡子と結婚し、二男五女に恵まれます。門下生の森田草平は、漱石の家庭が知りたければ『猫』をお読みなさい』と述べています。神経衰弱に陥った時の漱石は怖い父親として子どもたちの記憶に刻まれています。『吾輩ハ猫デアル』にはのびのびとした子どもたちの様子が描かれています。本展では、漱石の作品や日記、漱石が家族に宛てた手紙、漱石の家族による著作、初公開となる夏目家の家族写真などをもとに、家族の視点から漱石を読み解きます。



3



2



1



4

1. 夏目金之助 夏目鏡子宛書簡(部分)(明治35(1902)年3月10日付)  
留学中のロンドンから妻に宛てた手紙。義弟や長女(2歳)の日記をまた送ってほしいと書いている。
2. 夏目父 夏目筆子宛葉書(大正元(1912)年8月10日付)  
鎌倉の別荘に滞在中の長女に宛てて、「大仏の御腹のなかへはお父様もまだはいつた事がない、御前方はいい事をした。」と返信している。
3. 夏目漱石『吾輩ハ猫デアル』下編 浅井忠 挿図 大倉書店・服部書店、明治40(1907)年  
夏目家の日常を彷彿させる、猫の主人の家の食事風景。
4. 夏目家令嬢写真(寄託資料)  
夏目家の4姉妹と長女筆子の娘(推定)が写る。

## 関連イベント

## オンラインギャラリートーク

YouTubeチャンネル「レガスちゃんねるby新宿未来創造財団」で担当学芸員による展示解説映像の配信を予定しています。詳しくは当館ウェブサイトをご確認ください。

## 次回展示

《特別展》森田草平生誕140年(仮題)

令和3(2021)年

10月9日(土)～  
11月28日(日)

## 新宿区立漱石山房記念館 (公益財団法人新宿未来創造財団)

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7 TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <https://soseki-museum.jp/>

## 交通のご案内

〈電車〉  
東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分  
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分

〈バス〉  
都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分  
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

